

タンカー（給油船）からの油流出について

10月6日午後1時30分頃、今治海上保安部三島川之江分室から「三島川之江港で、潤滑油を他船に給油中の給油船から、潤滑油の一部が海上に流出した模様」との連絡がありました。

巡視艇いまかぜで調査を行ったところ、第二十日照丸（船種タンカー・総トン数99トン）が、他の船舶への「潤滑油」荷役を終え、給油ホースを収納する際、ホース内に残っていた「潤滑油」の一部を、誤って海上に流出させたことが判明しました。

海上へ流出した油は、同船乗組員が油吸着マットを使い回収し、巡視艇いまかぜも周辺に浮流油が無いことを確認しました。

【現場の状況】

第二十日照丸

